

ユニバーサルイベント手引書
まごごこサポーターマニュアル
【ポケット版】

かっこいい大人への道
～手引き書～

(ver.4 / 2023.3.31)



担当：

名前：

グラデーションの考え方

よく健常者と障がい者の境目は、
何か『できる・できない』だと考えられます。

でも、その境界線はどこに引きますか？
明確に引けますか？

例えば、若い頃は健康で五体満足な身体でも、
年齢を重ねていくうちに様々な機能が衰え、
できないことが増えていきますよね。

それに、健常者でも身体的特徴は
一人ひとり違います。
だから、人それぞれに
「できる」「できない」があります。

障がいの有無にかかわらず、人は生まれながらして
誰もがグラデーションの濃淡を持っており、
それが社会の多様性にも繋がっていると思うんです。

自分の努力次第で克服できない場合は、
技術の力を借りることで、
それが「できる」になるかもしれない。

それでも足りない時は誰かに力を借りればいい。

合言葉は..

「ハードよりハート」

アークシップでは、障害者・健常者の境界線を持たず、
ただ、困っていたら手を差し伸べる精神で、どんな人でも
全力で楽しめるイベントを作っていく思いで活動しています。



『車いす』

通常の歩行よりも
通る時は**スペースが
必要！！**(約80cm～)

1人でできることも
多いよ。だから、
どこにどのような
バリアがあるのか、**具体的に**
教えてくれると嬉しいな。

高いところや
低いところ
にあるものを
取ることが
難しいから
手伝って。



※手動車いすの場合
降り段差があるときは
前のめりになって
落ちちゃうから、
後ろ向きで！

※車いすをしようしているからといって、足だけが不自由とは限らないよ。
身体のさまざまな機能が麻痺している場合もあって、
特に電動車いすを使用している場合は上半身にも障がいがあることが多いかな。

◎基本的な補助方法

最高の笑顔で挨拶しよう！

話しかける時は**介助者ではなくまずは本人に**



困っていることは何か、手助けが必要かどうかを
確認しよう

『視覚障がい』

盲導犬



点字ブロックに物が置いてあると非常に困ります！

キョロキョロしてたらとても困ってるから声をかけて！！

◎基本的な補助方法

「スタッフです。
何かお困りですか？」
と声をかけよう。
その際は、自分は誰なのか
自己紹介しよう。



何をどうサポートして欲しいか
聞きましょう。

行きたい場所へ案内・誘導する。

誘導する際は、「1つ目の角を右に～」と具体的に説明する。

話す際は、「こっち」「あそこ」といった
こそあど言葉を使わないで！！

→右、左、前、後ろと具体的に説明しよう！

声をかけてもらわないと、
どこに誰がいるのかが
分からないな。

必要な情報がきちんと
得られれば、
ほとんどのことは
自分自身でできるよ☆



※誘導する際は、自身が立つ反対側を気にかける

白杖

『聴覚障がい』

◎基本的な補助方法

後ろから声をかけられても
気付けないから、正面に立って
まずは笑顔で話しかけよう。



どれくらい聞こえるかを聞こう。

※人によって聴こえ具合が違うよ！



ろう
聾 音が全く
聞こえない

なんちょう
難聴 音が
聞こえにくい



筆談ボード
を使用しよう。

「何かお困りですか？」
と書いて
筆談ボードを渡す。

※文字は大きく
内容は簡潔に
長文ではなく短文で

そのまま
会話を続けよう。

※ 突然大声で
話さないで。

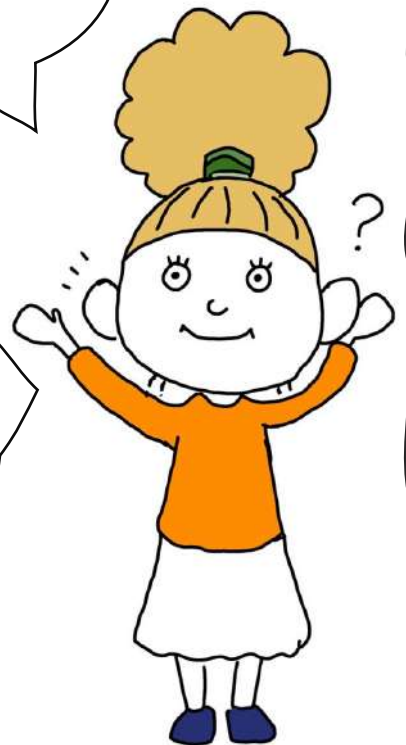
ジェスチャーを交えて
ゆっくりはっきり
話してほしい！

全員が全員
手話ができる
わけではないかな。

賑やかな場所では
近くで
ゆっくり話して。

会話の時は、
相手の**表情**を
見てるよ。

緊急時の
ベルや
放送が
わからない
から
教えて
ほしい！



『発達障がいなど』

自分の考えや気持ちを
うまく伝えることが
苦手です…。

複雑な話や抽象的な表現
がうまく理解できない。

冗談や嘘を判別することが
苦手です…。
あまり、からかわないで。

急に怒鳴ったりといった不可解な言動を
してしまうことがあるけど、
わざとやっているわけではないから
怒らないでほしい。

むしろ気にしないで！！



◎基本的な補助方法

対人関係が苦手な人、未経験の出来事や状況の変化への対応が苦手な人が多いです。

まずは緊張や不安を取り除くために

穏やかな口調で優しく声をかけてみよう。

なるべく相手に共感する姿勢でコミュニケーションを取ろう。

「はい」か「いいえ」で答えられる質問だと相手も答えやすいよ！

手伝いが不要な場合でも、そばで見守ることで安心感を与えるよ。

※疲れてそうな時やパニック状態の時は、

優しく“休憩室”や“静かな部屋”へ案内して休んでもらう。

～メモ～

今日感じたこと。必要だと思ったことメモしておこう。
筆談ボードとして使用するのも◎

Have a nice day !!



Produced by ARCSHIP

